

## ホームページ紹介

<http://mmart.edu.toyama-u.ac.jp/~moritas/>

教育学部 教授 森田 信一  
moritas@edu.toyama-u.ac.jp

私のホームページは、教育学部情報教育課程マルチメディア芸術専攻のためのmmartというサーバに置いています。これは、同専攻の上山先生が設置している教育用のサーバです。ここで私は、大それたサイトを構築している訳ではなく、教育と自分の授業に関連した、必要最小限の内容を構成しています。ということで、大学や教育学部のトップページからのリンクはしていません。

トップページは、マルチメディア演習室の小さな写真を貼付けているほかは、下のよう、文字中心の目次となっています。シンプルで軽くという方針です。ブロードバンドが普及して速度がどんどん速くなり、パソコン通信と言われた初期の、通信速度300baudの頃からすると、革命的な変化ですが、ダイヤルアップでインターネットに接続するケースも考慮しようということです。

トップページの内容は、以下の5項目が並んでいます。

1. music
2. IT 技術による障害者支援
3. music data
4. education
5. Links



これらのホームページの内容を、順次説明して

いきたいと思います。

### 1. music

ここには5つの小見出しがあります。

#### (1) キーボードを弾くには

ここはキーボード入門の教材となっています。細かい指使いを練習するのではなく、コードをおぼえてキーボードを弾くという方法を紹介しています。キーボードはリズム楽器と呼ばれていることを考えて、コードによってリズムを刻むことを狙いとした練習方法です。このために、最初に音名(キーの名前)を説明し、それからコードネームと押さえるキーの位置を説明しています。コードの押さえ方をたくさん覚えるのは大変です。そこで、4つのコードだけを覚えて、それを繰り返すという方法で、楽曲を演奏するという演奏方法を説明しています。

#### (2) コード一覧

ここでは、キーボードによるコードの押さえ方の一覧を提供しています。コードネームを見たとき、その押さえ方をここで調べるができるようになっているわけです。

キーボード(鍵盤)の白いキーでできるコード、これはハ長調のコードということになりますが、それを示しています。そして、そのキーボードの図をクリックすると、さらにそのコードに関連したコードが8種類、それに臨時記号のついたものが8種類、一覧できるようにしてあります。これで、特殊なものやテンションコードをのぞいて、ほとんどのコードが網羅されているはずです。

#### (3) コード進行の例

ここでは、コードをどう並べたら楽曲らしくなるかという例を示しています。4つのコードの繰り返しを演奏することによって楽曲ができ

るような並べ方、また8つのコードによる例、そしてもっとたくさんの場合など、いろいろな例を見ることができます。

#### (4) サウンドデータ

最近、楽曲の1小節だけを録音したようなサウンドデータを使って楽曲を組み立てるソフトがたくさん登場しています。その中で最初に登場してきたのが、SonicFoundry社のACIDというソフトウェアです。

ここでは、学校教育の音楽科でこのようなソフトウェアを使う場合、教材として利用できることを想定したデータを提供しています。いろいろな楽器の音、太鼓のリズム、また、街頭の音や人の声、水や鳥や風などの自然の音、それにドラムのリズムも含まれています。これらのサウンドデータを教材として使って、授業でACIDライクなソフトウェアによる学習ができるのではないかと考えています。これはWAVEデータなので、MIDIデータよりは大きくなっています。

#### (5) FreeStyle 入門

FreeStyleとは、MarkOfTheUnicorn社のMIDIシーケンスソフトウェアです。同社には、有名なPerformerというソフトがありますが、FreeStyleは、それより易しく使えるソフトとして開発されたものです。同社では、はじめてトラックレス概念を採用したと称しています。この入門コースを、教材としてここに提供しています。このようなMIDIシーケンスソフトウェアには、いろいろな種類がありますが、使い方の基本はそれほど違ったものではありません。一つのソフトがわかれば、だいたい連想しながら使いこなせるものです。

## 2. IT 技術による障害者支援

IT技術により障害者支援をすることは、いろいろな試みが行われています。ここで紹介しているのは、国際的規格のDAISYという技術による障害者支援です。これは、マルチメディア技術を使って、各障害者の読書を支援するものです。DAISYは、はじめは視覚障害者の読書支援として開発されました。従来、テープで作られてきた録音図書をCDに変換して、より快適な読

書環境を提供しようとするものです。やがてそれが、音声だけでなく、文字や画像も含めたマルチメディア形式となり、各種障害者や高齢者への支援に使えることが考えられました。また、このところ注目されるようになっている、特別支援教育への利用も考えられています。

このようなマルチメディア図書を作るためには、SigtunaDAR3というソフトウェアを使います。これによってDAISY図書を製作し、読書支援をしようという呼びかけをしています。そのため、SigtunaDAR3という新しいソフトウェアの使い方の簡単なテキストを作って提供すること、そしてそれを使ってDAISYと書を作るボランティアを募集しています。

## 3. music data

ここでは、MIDIシーケンスソフトウェアの教育のための教材を提供しています。ここにはスタンダードファイル形式で保存されたMIDIデータがあります。いろいろなドラムパターンによるMIDIデータ、コードを演奏したMIDIデータ、それにドラムとコードを含んだMIDIデータを提供しています。また、MIDIによる楽曲データとWAVE形式による楽曲データも提供しています。

## 4. education

ここには、私の授業の資料を置いています。授業の中で、学生が適宜参照できるようにしてあります。一つは、「録音技術と音楽制作」です。これは、サウンドデータによる音楽制作のための基礎知識として、録音の歴史などについての概説を提供しています。また、それに伴った資料を、より下の階層に提供しています。

もう一つの教材は、私を含めて5人で書いた「これからの情報リテラシー」という情報処理の入門テキスト(株式会社樹村房)の中にある応用問題のヒントを提供しています。この本を使っている大学の授業での利用を想定しています。

## 5. links

リンクとして、まず教育学部で設置している

ライブカメラ「インターネット百葉箱」、これは、理科教育の気象教材の提供として優れたものだと思います。気温、湿度、降水量その他の気象データが見れるだけでなく、過去の画像や、気温変化のグラフなど、利用価値の高いデータが提供されていて、私もいつも見えています。また、東京の末広町にあるライブカメラ販売会社が設置している動画カメラへのリンク、そして婦負郡婦中町の役場が設置している町内防災と川の水位監視のためのライブカメラへもリンクしています。ライブカメラにせっかくリンクしても、それがなくなってしまうことがあります。ここにリンクしたものは、しばらくは大丈夫ではないかと思っています。

また、国際ポピュラー音楽学会と日本ポピュラー音楽学会の公式サイトへもリンクしています。近年、大衆文化研究の高まりに伴って、音楽分野でもポピュラー音楽の研究が活発になっています。1980年代の始めに国際ポピュラー音楽学会が誕生し、その数年後には、日本ポピュラー音楽学会ができました。これらサイトで、それぞれの学会の内容や活動を知ることができます。

以上、音楽、音楽教育、IT支援、教育資料など、あまり一般的な内容ではないのですが、興味があったら覗いてみていただきたいと思います。